

シラバス詳細

タイトル「2024年度シラバス」、カテゴリ「経済経営学類」

科目情報

< 3 / 7件 >

科目名

Fukushima's History and Culture II

講義名

Fukushima's History and Culture II

クラス

担当教員

ワルト・ヨースト・ワウター(r449@ipc.fukushima-u.ac.jp)

実務経験のある教員による講義

学年

2年、3年、4年

キャンパス区分

金谷川キャンパス

開講学期

前期

開講時期

(前期)

曜日・時限

水2

講義室

講義室未設定

科目種別

通常講義(学類)

ナンバリング

z0300150

科目区分

自由領域科目(学類)

単位区分

自由

単位数

2

準備事項**備考****特修プログラム****直接参照URL**https://livecampus.adb.fukushima-u.ac.jp/lcu-web/SC_06001B00_22/referenceDirect?subjectID=047340156483&formatCD=1**授業方法**

講義、グループワーク、発表、ディスカッション、フィールドワーク

講義情報**授業概要とねらい**

この授業では福島県の歴史と文化について英語で学びます。全国47都道府県の中でも3番目の面積でありながら、福島県の実在は東日本大震災以前は世界に広く知られていませんでした。しかしながら、近代日本の形成の中で福島県は幾度も歴史的に重要な役割を果たしており、多様な文化も誇ります。この授業では、福島県の歴史と文化に関する根本的な知見をフィールドワークと講義を用いて学ぶことで、受講対象者である留学生に福島および東北での生活をより理解するための基礎的知識と、福島県に関わる様々な事柄を多面的に捉える力を育成する事を目指します。

単位認定基準

- 1) 英語で福島県の歴史と文化を総合的に理解できる
You can understand overall concepts and themes related to Fukushima's history and culture using English.
- 2) 福島県の歴史やその重要性を他人に英語で紹介できる。
You can identify the significance of Fukushima's history and explain it to others in English.
- 3) 福島県の現在の話題を過去の歴史的出来事とつなげる事ができる。
You can relate current events to historical events in Fukushima.

授業計画**授業計画（週形式）**

- 1 オリエンテーションと福島県の基礎知識 Orientation/Overview of Fukushima
- 2 福島県の歴史：古代福島 Fukushima's history: Ancient Fukushima
- 3 福島県の歴史：中通り Fukushima's history: Nakadori region
- 4 福島県の文化：中通り Fukushima's culture: Nakadori region
- 5 福島市内でのフィールドワーク Field work in Fukushima City
- 6 学生発表 Student Presentations
- 7 福島県の歴史：会津 Fukushima's History: Aizu region
- 8 福島県の歴史：戊辰戦争 Fukushima's History: Boshin War
- 9 福島県の文化：会津 Fukushima's Culture: Aizu region

10 学生発表 Student Presentations

11 福島の歴史：浜通り Fukushima's History: Hamadori

12 福島の文化：浜通り Fukushima's Culture: Hamadori

13 浜通りに関連したフィールドワーク Field work related to Hamadori

14 学生発表 Student Presentations

15 まとめ・振り返り Wrap-up and reflection

教材・教科書

福島高等学校地理歴史・公民科研究会（編）「福島県の歴史散歩」山川出版社
Fukushima Today and Tomorrow, Rekishi Shunju-sha

参考図書

参考URL

授業外の学修、及び必要な学修時間

Based on the credit system, a minimum of 60 hours of out-of-class study time is required. Expected activities include:(1) Collecting literature and materials related to the course content in advance, (2) Reflection reports and quizzes, (3) Field work on selected weekends

成績評価の方法

学生発表 Student Presentations 40%
授業内課題 In-class Assignments 20%
最終試験 Final Paper 40%

成績評価の基準

S: 単位認定基準を満たし、かつ全ての項目で優秀な学修成果をあげた (90~100点)
A: 単位認定基準を満たし、かつ多くの項目で優秀な学修成果をあげた (80~89点)
B: 単位認定基準を満たし、かついくつかの項目で優秀な学修成果をあげた (70~79点)
C: 単位認定基準を満たす最低限の学修成果をあげた (60~69点)
F: 単位認定基準の学修成果をあげられなかった (~59点)

オフィスアワー

Fridays 3rd and 4th period (appointment will be required)

授業改善・工夫

授業の内容とペースは受講者の語学レベルに応じて順次調整されます。

留意点・注意事項

日本人学生も受講することは可能ですが、このコースは英語で行われますのでご注意ください。

教員の実務経験の有無